

# 適切な排水対策の実施による新たな「にんじん」産地づくり

【石黒地区、広瀬地区、広瀬館地区、福光地区】(南砺市)

高収益作物  
の生産

高付加価値化  
・販売力強化

関係人口  
の増加

ICT技術  
の活用

## 【工夫のポイント】

○水田において、土壌条件とほ場条件に応じた排水対策を施工し、主穀作経営体での高収益作物「にんじん」の栽培実証を実施する。

○地元JA及び関係機関が連携し、出荷販売体制を構築を図り、福光地区における新たな「にんじん」の産地化を目指す。

## 現状と課題

### 【支援事業（優遇措置）】

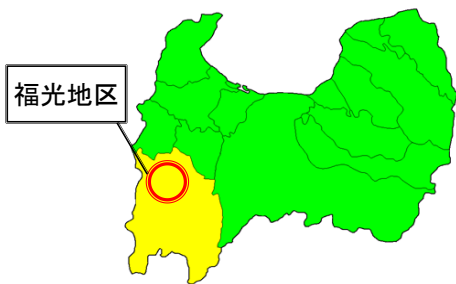
- ・農業競争力強化基盤整備事業 H29～
- ・多面的機能支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金

- 農地の多くが本暗渠が施工されていない水田であることから、多くの経営体が主穀作中心で、園芸作物の栽培が難しい。
- 園芸を導入した経営の複合化により、経営基盤の強化を図る必要がある。



## 【取組地域の概要】

- 地区名 なんとし ふくみつ  
富山県南砺市福光地区(過疎、特農、山村)



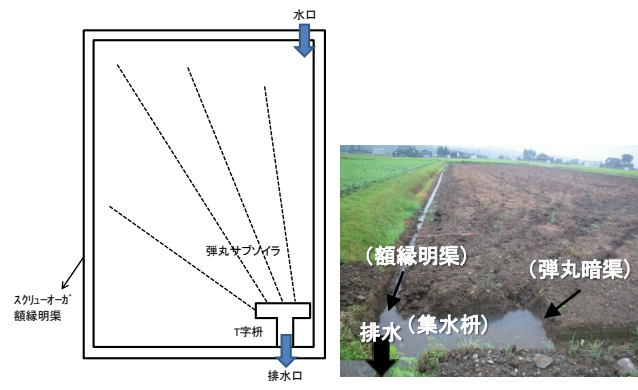
- 主要作物  
・水稲、大豆、大麦、柿 等

- 併せて行う都道府県・市町村単独事業  
・とやま型農業経営支援事業

## 取組内容

### 高収益作物の生産・販売力強化

- ほ場条件の異なる各ほ場において、効果的な排水対策を実証。
- JAが中心となり、収穫機や洗浄選別機を導入し、出荷品の均質化や計画出荷による有利販売を実証。
- 実証結果を踏まえ、「にんじん」栽培に適した基盤整備を実施。



### 栽培のマニュアル化による園芸作物導入促進

栽培や販売の実証を踏まえ、栽培マニュアルの作成と販売先の確保により、生産者の育成と販売額の増加を図る。



基盤整備事業を実施した地域において、「にんじん」の導入により、経営体の収益性の向上を図る。

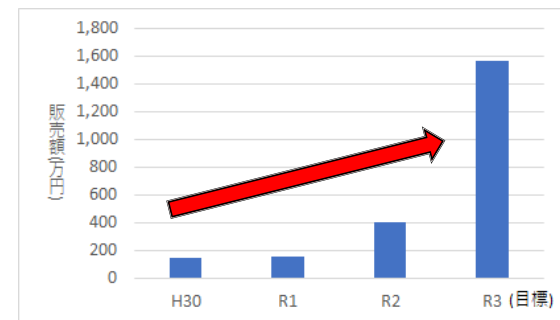


図 にんじんの販売実績(H30～R2)及び計画《福光地区》